



59.11.
 第114号(月刊)
 TEL 34-2584

提灯・ねぶた運行・みこし運行・交通安全・防犯のパレード等、多彩な行事が繰りひろげられた。二日間にわたる夜店は青森露商組合より六〇店が参加協力、大人も子どもも郷愁あふれる夏の楽しい夜を過ごした。

超満員「第七回町内婦人のつどい」^{9/5}会場文化会館

約四〇〇名の出席者で、会場は一ぱい、補助椅子でやっと間にあわせた。心配された発言者も昨年よりも多く、活潑な意見がかわされた。テーマは二つ。

- 冠婚葬祭の合理化促進……発表者、須郷 友子氏
- ゴミ処理の諸問題 (市婦人団体連絡協議会)
- ……お話、市清掃事業所長

○報告事項

市内有名結婚式場の調査結果について、能登福祉部長

○いろいろな意見 (冠婚葬祭)

合理化の趣旨に賛成だが、自分のことになると考え方の人がまだ多い。一人ひとりの決意が必要・偉い人が率先実行してほしい・弘前市では香典返し廃止している。青森市は困難のようだ、人口移動はげしいためか・花輪ボスターはわびしい感じがする・いや今のボスターは美しい私の地区では近親者以外は花輪ボスターを利用している。通夜は一人ジユース一本にしている(白旗野)

先日、兄のところで結婚式あった。一万円会費で二五〇名出席し立派にできた。

○坪清掃事業所長のお話

○ゴミ処理の経費は、市全体で年間十七億円を超える。

○生ゴミの水切りは是非お願いしたい。(油の節約量を数字で説明)

○十月一日より不燃ゴミの収集は週一回になる。

○粗大ゴミは年六回実施する。

○ひと掃き運動に是非ご協力お願いしたい。

○リサイクル活動を各町会ですすめてほしい。

○いろいろな意見 (ゴミ処理)

●焼却場からなる灰の利用は・空缶の処理は・乾電池の処理は、

●焼却場の排熱利用は・ゴミ収集の後始末は

●私の町会では、ゴミ収集所の清掃を交代当番制にしたら結果は非常によくなつた等

和やかな雰囲気の中で、盛沢山の意見・提案が消化され、午後三時四十分、盛況裡に終了した。

祝 創立記念式おめでとう

○創立三十五周年記念式、九月一日、西上古川第二町会

町長 白取 良 会場篠田福祉館

○創立十五周年記念式、九月九日、出町町会

町長 阿部 正男 会場出町温泉

○創立二十周年記念式、九月二十四日、浪館第一町会

町長、高畠豊太郎 会場小野呂服店二階

○創立三十周年記念式、十月七日、南信用町々会

町長 福士 敏男 会場工藤パンビル

○創立二十周年記念式、十一月二十一日、甲田町会

町長 森山 健二 会場えびすや

団地ぐるみのお祭りとパレード

稻の香や

三年ぶりの

穂を握る

(合掌)

- ・南部第五区連合町会(幸畠地区)会長竹内功臣
- 八月十一日、前夜祭、夜店・十二日夜店開催の外、流し踊り、子どもも

秋の交通安全運動

・北部第一区連合町会(会長船橋豊美)¹⁵9/15 参加者二〇〇名

・東部第六区連合町会(会長宮城三)²²9/22 参加者

・秋の全国交通安全運動²¹9/1/30 初日の二十一日に、当会交通安全全部会員出動、松木屋、長間の街頭

で広報活動を行つた。

・西部第五区(平岡町会)(増田福松町会長)²³9/23 参加者一五〇名

ひと掃き運動のアンケートお願い

ひと掃き運動については、本年度市の行政主導で発足したばかりで、毎月十八日といつても、日曜日以外は、特定の場所を清掃するのは困難な人もあり、老人クラブが主に出動することになるようである。町会によっては、毎月第〇日曜と決めて町民こそって実施しているところもあり、市民運動として盛りあげるには、行政にたよらず、町会が主体となり、自主的に、決められた日でなく決めた日に、町民みんなが出て清掃することが望ましいことではないかと思う。それにしても毎日一人ひとりが、自宅前を掃くことが基本のように思う。

今回、各町会の実態を知り、更にこの運動を盛りあげるため皆様のよきお知恵を拝借いたしたくアンケートをお願いしました。ご協力の程よろしくお願いします。

祝 交通安全功劳受彰者

(8/31) 於文化ホール

・大塚英五郎(御園町会町)

表彰状授与

・宮城 武三(佃北町会長)

"

・川口 要作(石江江渡中町会長)

"

・柴田 正春(小館町会長)

"

・青森市町会連合会(会長岩谷貞作)感謝状授与

祝 一口伝言板

○市議会議員との懇談会は、九月二十八日開催の予定であったが最近、何かとあわただしい議会の事情により、当分の間延期することになりました。

○街灯電気料補助金第三回目をただ今、交付中ですが、第一回目までの未受領金額が四十五万円程残っております。
無効にならぬうち、早く受取つてください。

墓碑銘

故野脇第一町会長・富所忠雄殿(七十二才)

九月十五日死去、十九日葬儀、於蓮得寺

昭和八年青師二部卒業後、停年まで市内の小学校を歴任、千刈小学校長を最後に停年退職、音楽教育には識見もあり、在住中青森市少年少女合唱団の団長として活躍、今まで市民憲章の教養を高める運動の部長を務めていた。五十八年五月、町会長に就任、温和な人柄で、健康状態も普通であったが、心不全で急逝、心からご冥福を祈ります。

